

□ 小猿七之助 後篇

原作並脚色者 帝キネ時代映画 穴合古

「小猿七之助」後篇帝キネ佐藤樹一 路作  
品。右より松枝鶴子・松本三郎。



監督者 摄影者 | 主要役割

佐藤樹一 花幹也

小猿七之助  
父七五郎  
雷の仁八  
七之助の妹お花  
五月 鈴木傳内  
榮屋與四郎  
島田屋樓兵衛  
熊吉  
仲間頭與助  
仲間治介

片松高嶺  
中村桐恒  
中村枝津  
中村見仙  
市川幅  
喜多村  
十歌  
獅見仙  
鶴愛  
櫻子  
平順郎  
暁子  
子徳男郎

佐藤樹一 花幹也

解説 | 佐藤樹一路氏が同前篇に續いて監督製  
作した時代映画である。  
略筋 | 一士と月は昇一等を減じられて遠島さ  
まり、後れて同じこの島に流されて來た熊吉か  
ら江戸の様子を聞いて故郷懐しさに心を闇えを  
ら江戸に訪ね、積る話に夜も更けて睡び込ん  
み。我が家を訪ねたが父と妹の行方は知れなかつ  
た。熊吉から聞いたが父と妹の行方は知れなかつ  
た。島田屋樓兵衛はばかりずも失明した妹お花  
にかけ、傷いて果敢な決意を決して金を取  
り止めることに成功した。その代價に病  
に苦しめられ、その時に七五郎はこゝに現  
れる。お花の可憐な姿に感動する。お花の手  
に曳かれて行くのであつた。